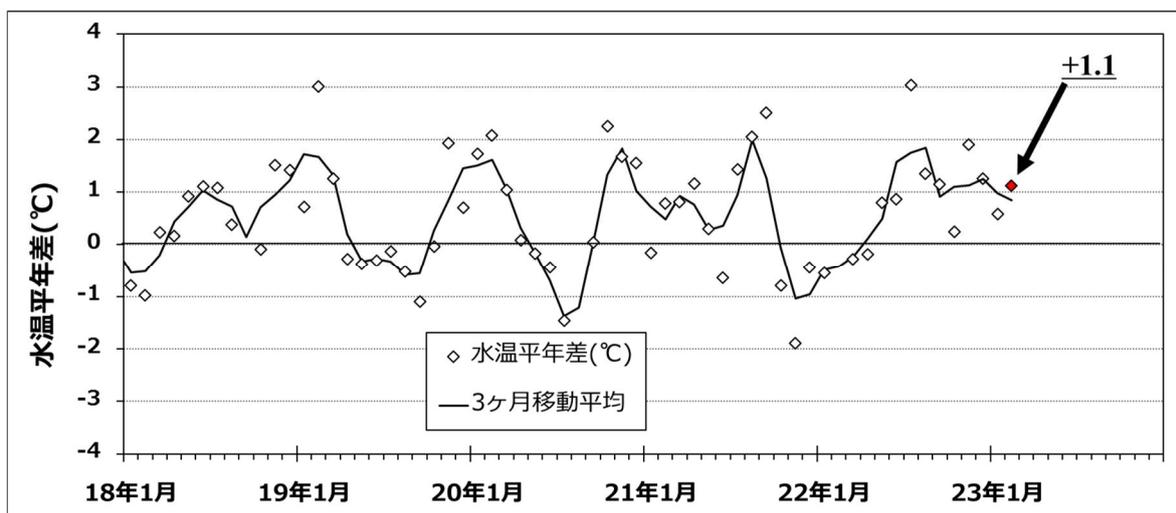


【水温の変動】

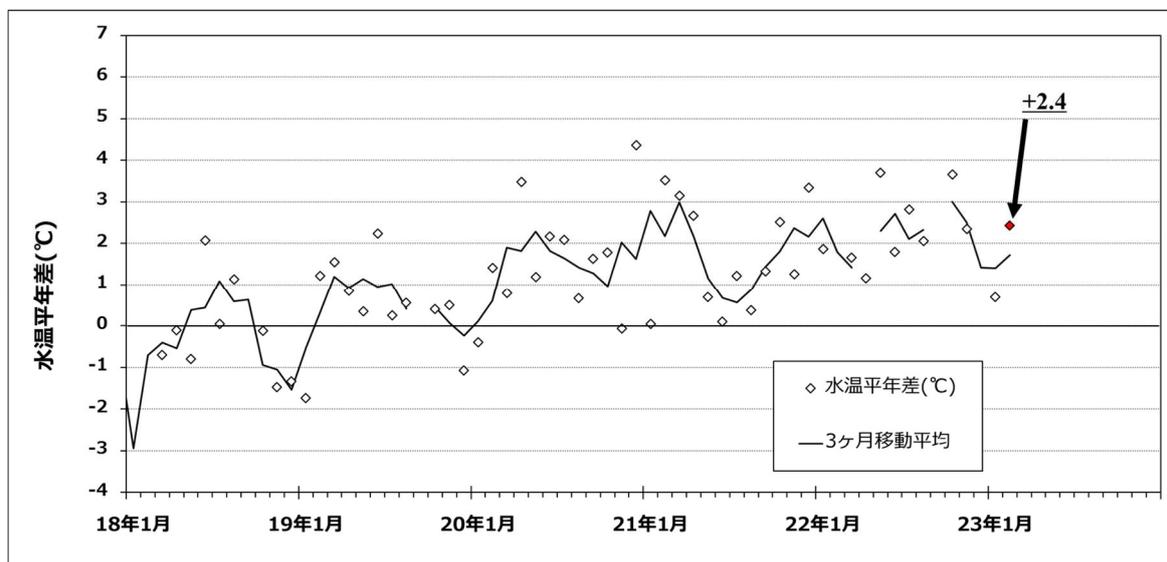
2月6、7日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

湾口部では平年差+1.1°Cでやや高めとなっています。沖合域の水深 200m では平年差+2.4°Cで高めとなっています。2月6日の人工衛星画像によると、黒潮は室戸岬沖の北緯 32 度付近から御前崎沖の北緯 30 度付近まで南下した後、S 字を描きながら御前崎沖 33 度付近まで北上し、東へ流れています。現在の流路は、流軸が御前崎沖正南を北緯 33 度以北で通過する As 型流路となっています。黒潮が渥美半島に接近しているため、渥美外海では暖水波及が強まっています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去 10 年平均値との差

【渥美外海の海況】

湾口部から渥美外海にかけての水温は、表層で12.5~18.4°Cとなっていました。水温の鉛直断面図によると、等温線に目立った傾きはなく、全体的に顕著な流れはない模様です。クロロフィルa濃度は、顕著なピークがみられず、全域で低めとなっています。

水温の水平分布図と水温、塩分、密度、クロロフィルa濃度の鉛直断面図

